

## 日本原子力研究所における放射性同位元素の製造頒布事業の合理化

### 1. 概要

原研における放射性同位元素（R I）製造頒布事業の合理化を目的として、同事業の民間移転を推進する。また、同事業の合理化に合わせて社会のニーズに応じた新しい R I の開発を強化することにより、製造頒布から研究開発への移行を図る。

### 2. 経緯

原研では、R I の利用促進等を目的として、昭和 37 年以来 R I の製造頒布事業を行ってきた。この結果、近年では、医療、工業、農業等の幅広い分野で R I の利用が定着し、所期の使命は十分達成されたものと考えられる。このような状況を背景に、平成 7 年 2 月の「特殊法人の整理合理化」に関する閣議決定において、同事業の合理化を推進することとなった。

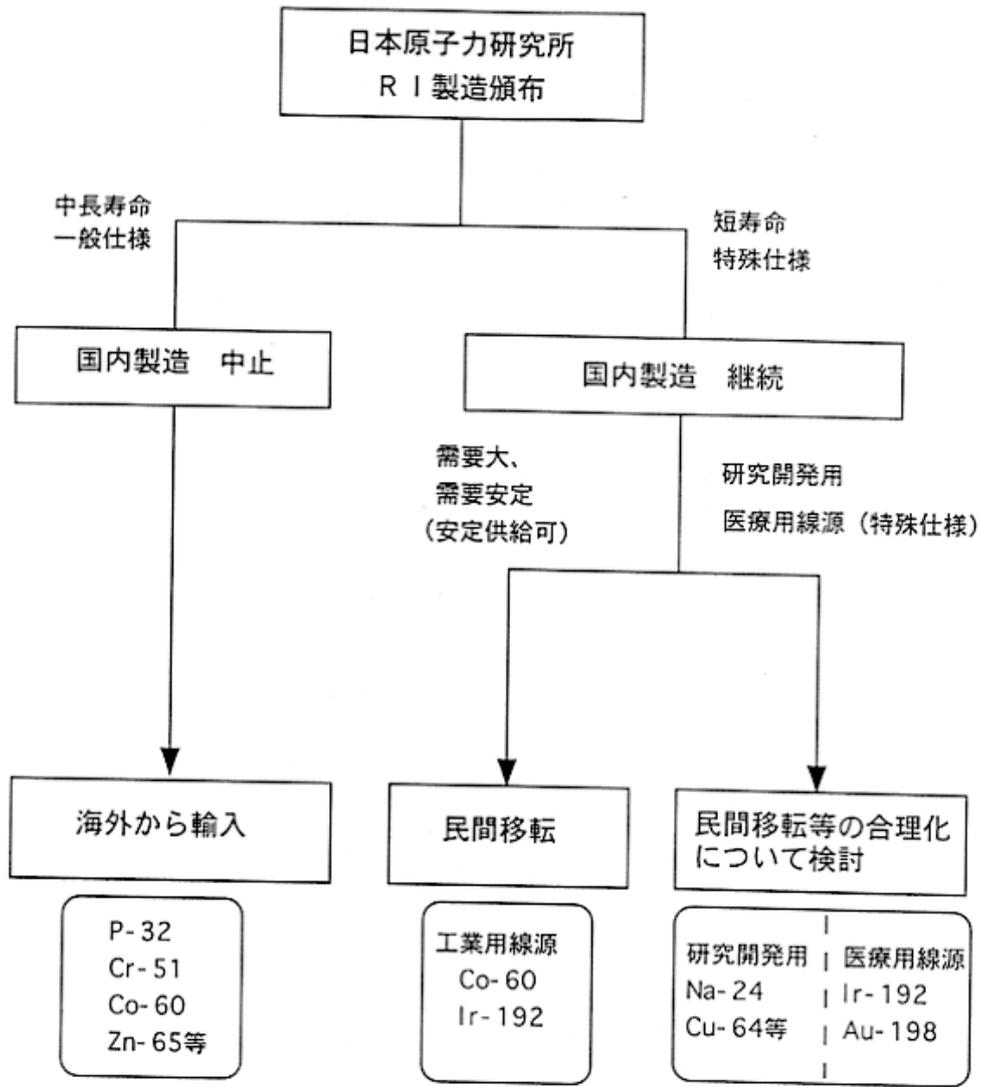
### 3. 合理化の進め方

閣議決定に基づき関係諸機関等と協議の結果、同事業の民間移転等を含む合理化を実施することとなった。このため、従来原研で製造頒布してきた R I について、今後は以下のとおり合理化を進める。

- (1) 海外から輸入可能な R I（P-32、S-35、Cr-51、C-14 等、中長寿命 R I 18 核種）については、平成 9 年度に製造・頒布を中止する。
- (2) 需要の大きい R I であり、これまで安定的に大量製造してきた工業用の Ir-192 及び Co-60 線源については、平成 10 年度から民間移転を図ることとする。
- (3) 従来原研で製造してきた研究開発用 R I（Na-24、Cu-64 等）、特殊仕様の医療用線源（Ir-192、Au-198）については、民間移転等、合理化に向けた具体的方法について引き続き検討を進める。

### 4. 移転に際し考慮すべき事項等

- (1) 合理化により頒布中止あるいは頒布価格の上昇等のおそれがある R I については当該 R I の公益性等を十分に踏まえた対応を検討する。
- (2) 原研は、本事業の移転先に対し、円滑な事業移転を図るため、技術移転、R I 製造に係わる原子炉の利用等の面で十分な協力を行うこととする。



日本原子力研究所  
RI製造頒布

中長寿命  
一般仕様

短寿命  
特殊仕様

国内製造 中止

国内製造 継続

需要大、  
需要安定  
(安定供給可)

研究開発用  
医療用線源 (特殊仕様)

海外から輸入

P-32  
Cr-51  
Co-60  
Zn-65等

民間移転

工業用線源  
Co-60  
Ir-192

民間移転等の合理化  
について検討

研究開発用	医療用線源
Na-24	Ir-192
Cu-64等	Au-198